

宇治市の基礎情報 について

宇治市

※各分野は総務省統計局「統計ダッシュボード」より作成

目次

I.宇治市の基礎情報	1
1.宇治市の位置・地勢	1
(1)位置	1
(2)地勢	1
(3)沿革	2
(4)地域資源	2
2.宇治市の人口	3
(1)人口推移と将来推計	3
(2)年齢別構成の変化	3
(3)人口動態の変化	4
II.定量分析の結果	5
1.比較対象都市	5
2.各分野の結果	6
(1)人口・世帯	6
(2)教育・文化	7
(3)経済	8
(4)労働・雇用	9
(5)商業	10
(6)工業	11
(7)農林水産業	12
(8)福祉・医療	13
(9)環境衛生・安全	14
(10)居住環境	15
(11)土地利用	16

I.宇治市の基礎情報

1.宇治市の位置・地勢

(1)位置

宇治市は、京都府の南端に近く、京都盆地の東南部に位置し、京都市や大津市などと接する位置にある。



【出所】宇治市 HP「宇治市の位置と面積」

(2)地勢

宇治市の地形は、大別して、東部の山間地帯、中央部の山麓丘陵地帯、西部の沖積低地の 3 つに区分でき、林野面積が市域の半分以上を占めている。

交通網としては、京滋バイパスや市の西部を南北に縦断する国道 24 号線、市の中心部を通る JR 奈良線、京阪電気鉄道、近畿日本鉄道があり、これらを中心として、バス路線や地方道が張り巡らされている。



【出所】宇治市 HP「市域のありさま」

(3)沿革

明治元年に京都府が置かれ、その後いくたびかの行政区画の変遷を経て、昭和 26 年 3 月 1 日に市制を施行し、人口約 3 万 8 千人の宇治市が誕生した。

以来、宇治市は順調な発展を続け、昭和 30 年代後半から京阪神の住宅都市として脚光を浴びた。市内各地での宅地造成と著しい人口増加がはじまり、昭和 54 年 8 月には 15 万人を、平成 10 年 9 月には 19 万人を超えるにいたった。市では現在、これまでの成果を引き継ぎながら、市民参画や市民協働をより一層進め、個性あるまちづくりを図る施策・事業展開に取り組んでおり、南山城の中核をなす都市として今後一層の飛躍発展をめざしている。

【出所】宇治市 HP「宇治市のあゆみ」

(4)地域資源

①観光資源

<平等院> ※世界遺産

平安時代の後期、1052 年に宇治関白藤原頼通が、父道長の別荘を寺院に改めたものである。「鳳凰堂」は、その翌年に阿弥陀堂として建てられ、仏師定朝の作になる阿弥陀如来坐像が安置されている中堂と、左右の翼廊、背面の尾廊で成り立っている。

<宇治上神社> ※世界遺産

明治時代までは、隣接の宇治神社と二社一体で「離宮上社」と呼ばれていた。祭神は、応神天皇とその皇子菟道稚郎子及び兄の仁徳天皇とされている。境内正面の拝殿は鎌倉初頭のもので、寝殿造の様式を伝えている。本殿は、平安時代後期に建てられた現存するわが国最古の神社建築である。

②特産物

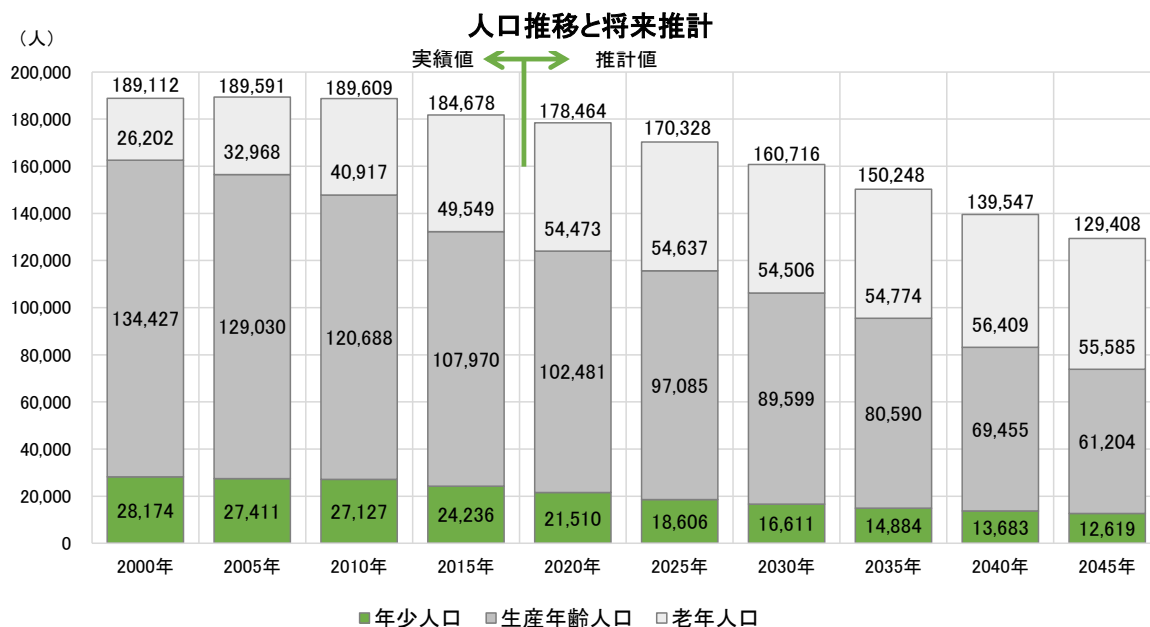
宇治茶

【出所】宇治市 HP、「京都・宇治」観光パンフレット」

2.宇治市の人口

(1)人口推移と将来推計

国勢調査結果による人口推移及び国立社会保障・人口問題研究所の推計結果では、2025(令和 7)年には総人口が約 17 万人に減り、以降は 5 年毎に約 1 万人のペースで減少していくことが予測されている。総人口は減少傾向、そして、老年人口比率は増加傾向、年少人口比率は減少傾向で推移していくことが予測されている。

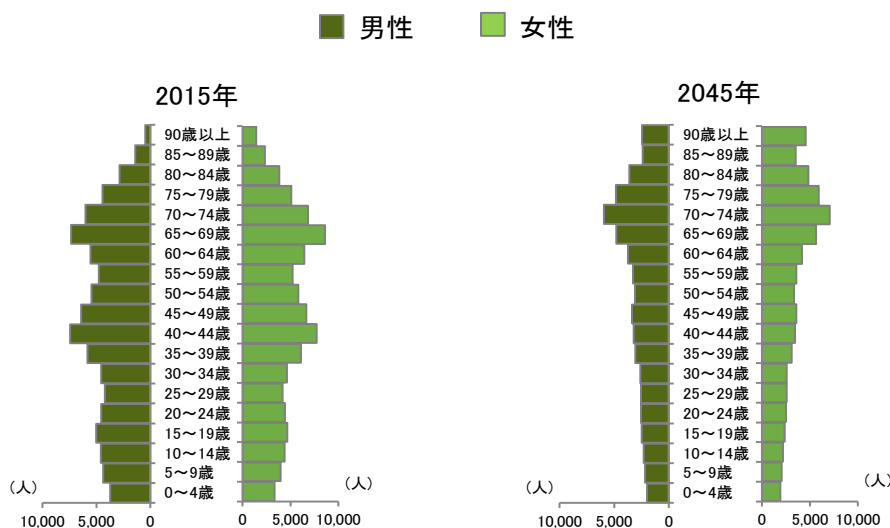


【出所】(実績値)総務省「国勢調査」、(推計値)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2018(平成 30)年推計)詳細結果表」

(2)年齢別構成の変化

年齢別(5 歳刻み)の人口の推移は、15 歳未満の年少人口割合及び 15 歳～64 歳の生産年齢人口割合が減少する一方で、65 歳以上の老年人口割合は増加していくことが推測される。そのため、今後より一層、少子高齢化の進展と生産年齢人口の減少による労働力不足が懸念される。

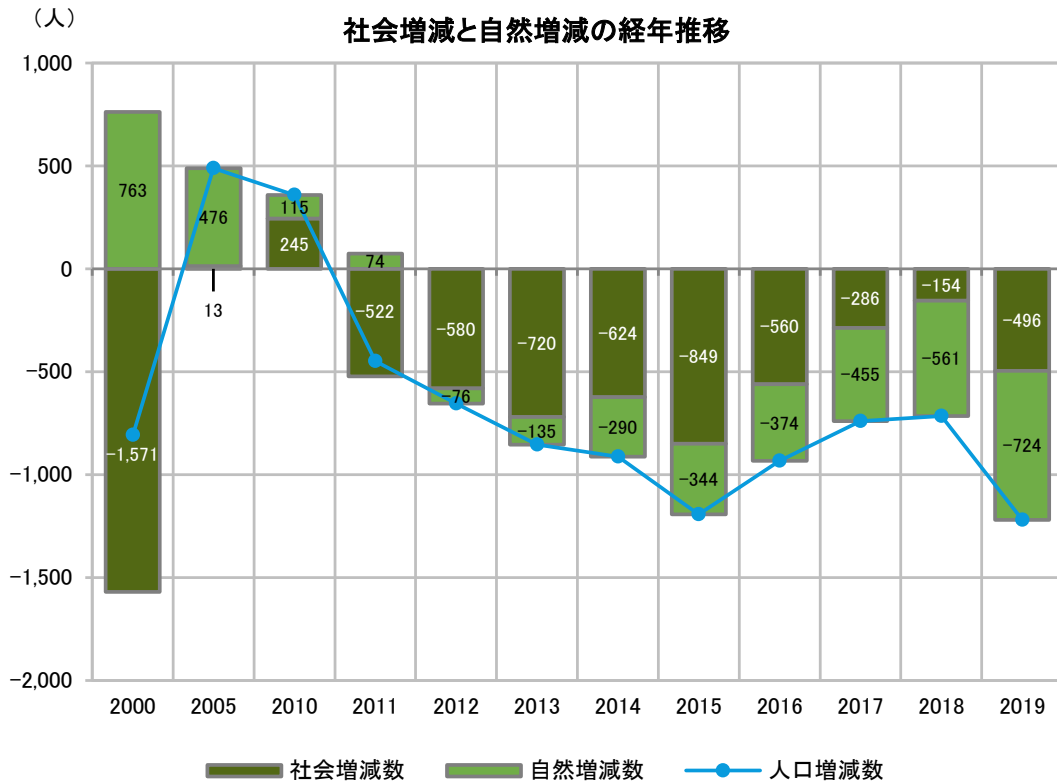
2015 年と 2045 年の人口ピラミッド



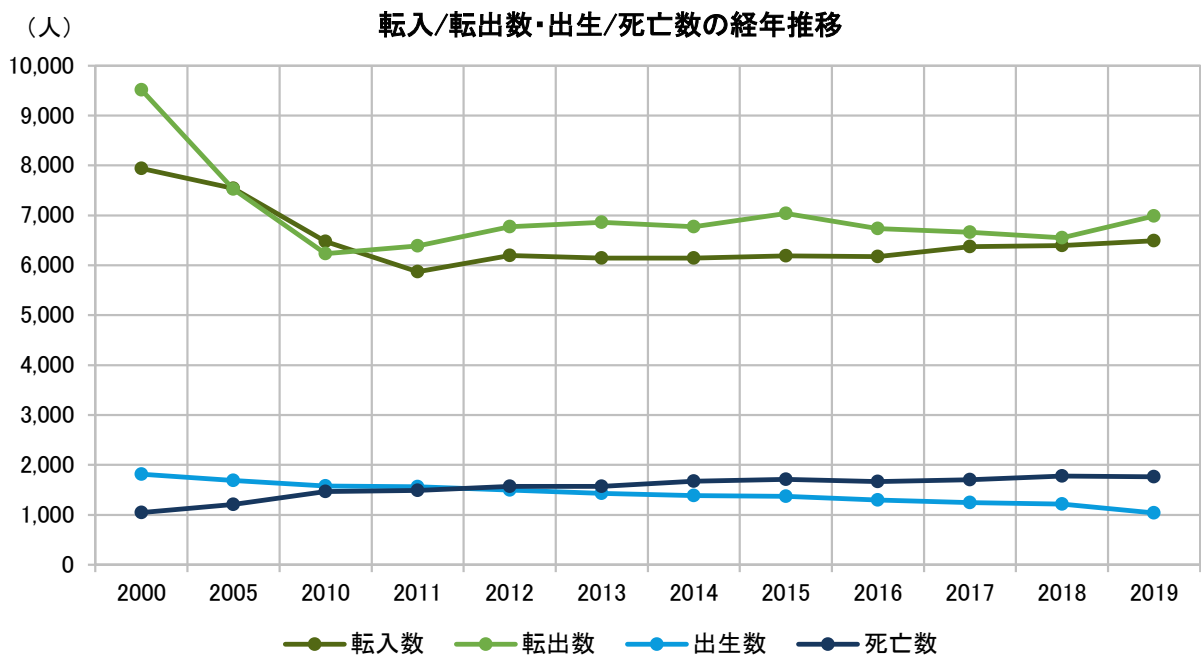
【出所】(実績値)総務省「国勢調査」、(推計値)国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018(平成 30)年推計)」

(3)人口動態の変化

人口動態の推移は、自然動態(出生・死亡)は、死亡数が出生数を上回っており、年々、自然動態の減少幅は大きくなっている。また、社会動態(転入・転出)は、転出数が転入数を上回っており、直近5年では年平均で400人超ずつ減少している。さらに自然増減と社会増減を合わせると、年平均で900人超減少している。



【出所】総務省「国勢調査」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」



【出所】総務省「国勢調査」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

Ⅱ. 定量分析の結果

1. 比較対象都市

比較対象都市は、近隣市町及び類似団体の中から取組などを参考にしている以下の 6 市町を選定し比較した。

比較対象都市の主な指標を偏差値化し、「2.各分野の結果」にまとめた。

No	都道府県	団体名	類似団体類型※1	人口規模※2	昼夜間人口比率
-	京都府	宇治市	一般市 IV-3	184,678	88.1
1	京都府	八幡市	一般市 II-1	72,664	88.4
2	京都府	京田辺市	一般市 II-3	70,835	100.1
3	京都府	城陽市	一般市 II-3	76,869	82.7
4	京都府	福知山市	一般市 II-1	78,935	105.7
5	京都府	久御山町	町村 IV-1	15,805	177.7
6	神奈川県	鎌倉市	一般市 IV-3	173,019	97.0

※1: 総務省の類似団体区分(以下、参照)

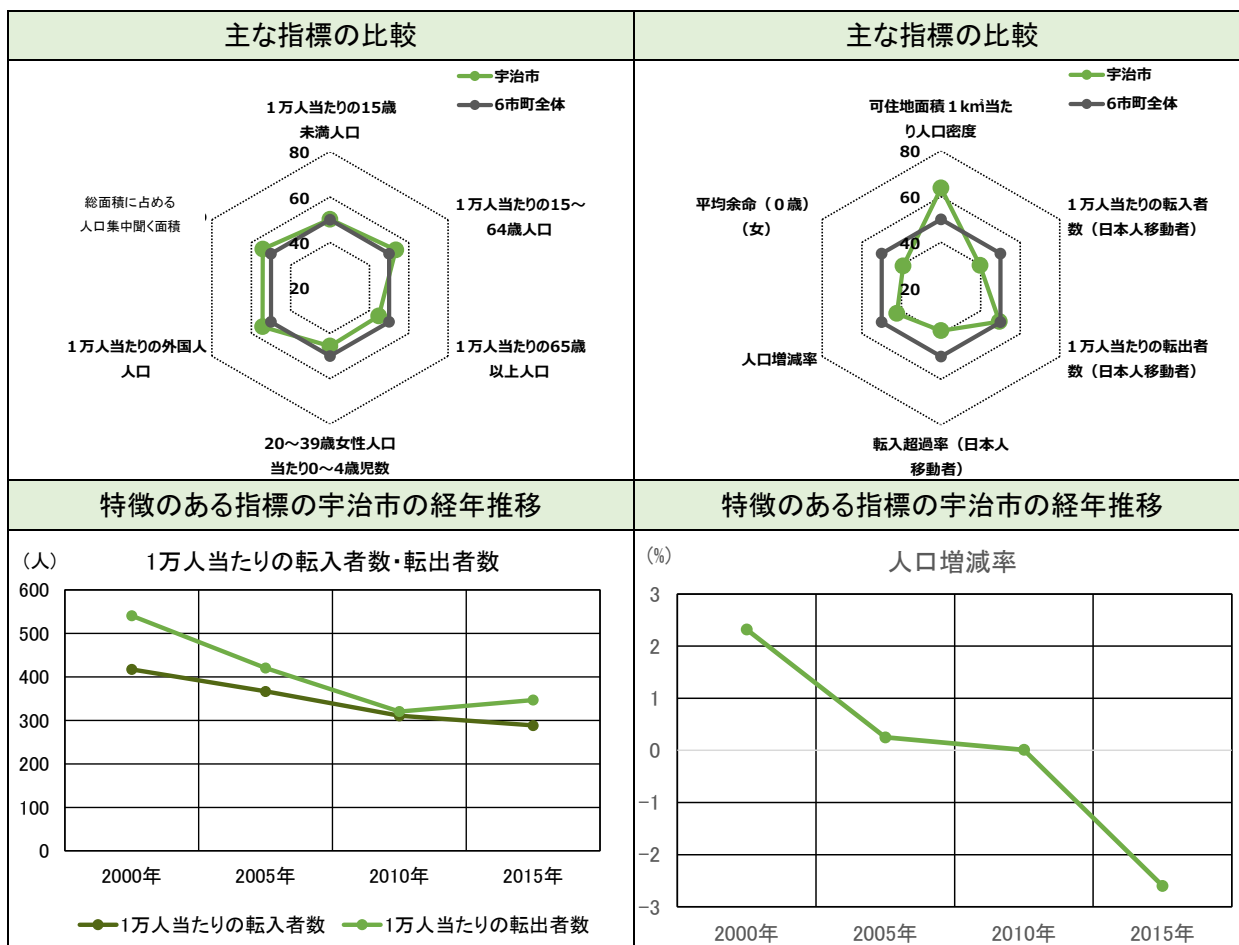
都市		Ⅱ次、Ⅲ次90%以上		Ⅱ次、Ⅲ次90%未満		計
		Ⅲ次65%以上	Ⅲ次65%未満	Ⅲ次55%以上	Ⅲ次55%未満	
		3	2	1	0	
50,000 人 未 満	I	32 (36)	64 (73)	126 (128)	30 (35)	252 (272)
50,000 ~ 100,000 未 満	II	81 (85)	87 (93)	64 (69)	12 (12)	244 (259)
100,000 ~ 150,000 未 満	III	49 (50)	28 (30)	21 (21)	1 (1)	99 (102)
150,000 人 以 上	IV	32 (32)	17 (17)	5 (5)	- (-)	54 (54)
計		194 (203)	196 (213)	216 (223)	43 (48)	649 (687)

※2: 2015(平成 27)年の国勢調査結果の人口データ

2.各分野の結果

※ 総務省統計局「統計ダッシュボード」を基にデータを抽出し作成した。また、経年推移も同様のデータである。

(1)人口・世帯



【可住地面積1km²当たり人口密度】

➤ 可住地面積1km²当たり人口密度は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【1万人当たりの転入者数】

➤ 1万人当たりの転入者数は、6市町平均と比べて低い水準にあると共に、減少傾向にある。

【転入超過率(日本人移動者)】

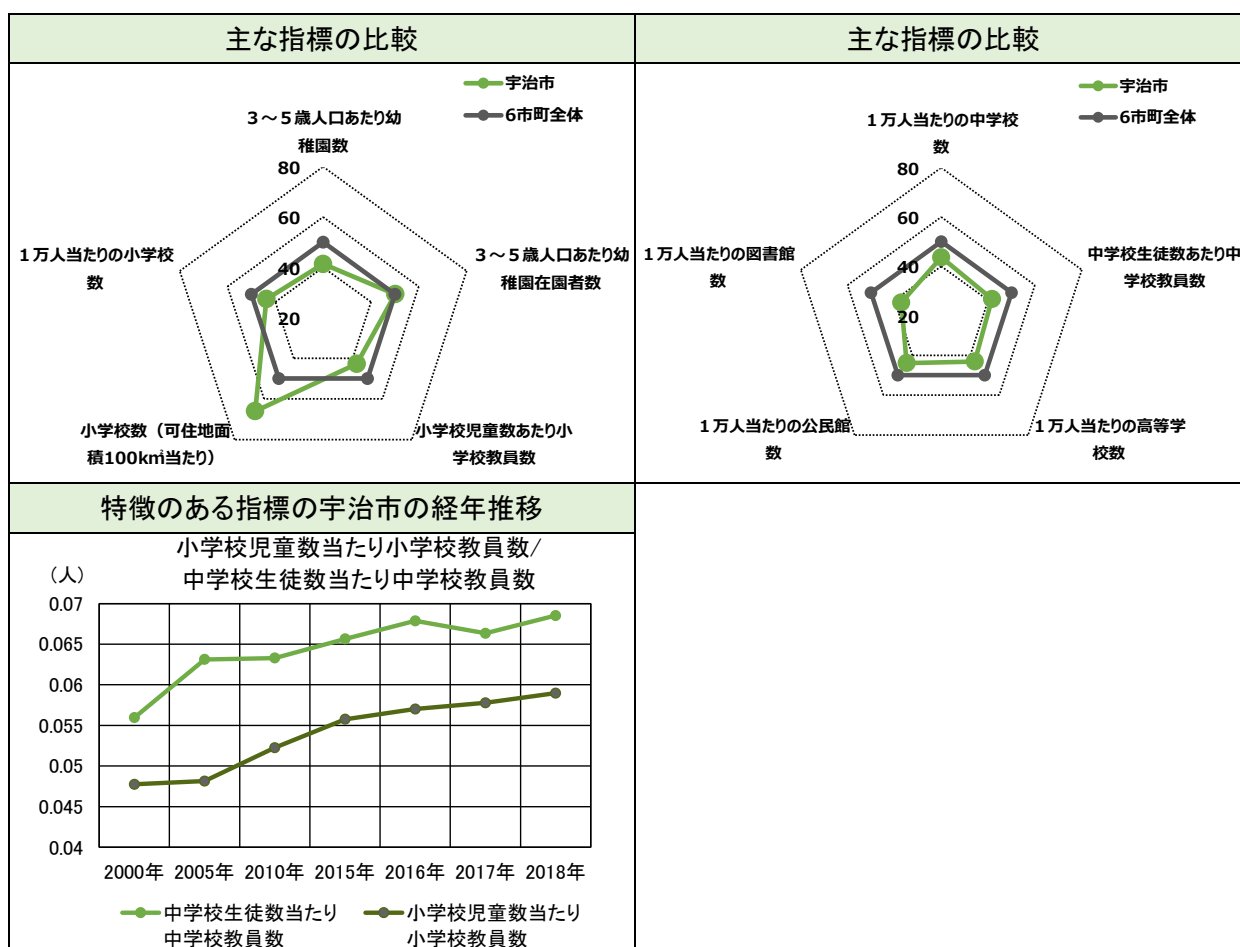
➤ 転入超過率(日本人移動者)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【人口増減率】

➤ 人口増減率は、6市町平均と比べて低い水準にあると共に、減少傾向にある。

「総面積に占める人口集中中間面積」や「可住地面積1km²当たり人口密度」の水準が高いことから、一定程度のコンパクト化が進んでいると推察される。また「1万人当たりの転入者数」が低い水準にあることから、移住定住に向けた取組が重要になると考えられる。

(2)教育・文化



【3～5歳人口当たり幼稚園数】

- 3～5歳人口当たり幼稚園数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【小学校児童数当たり小学校教員数】

- 小学校児童数当たり小学校教員数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【小学校数(可住地面積 100 km²当たり)】

- 小学校数(可住地面積 100 km²当たり)は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【中学校生徒数当たり中学校教員数】

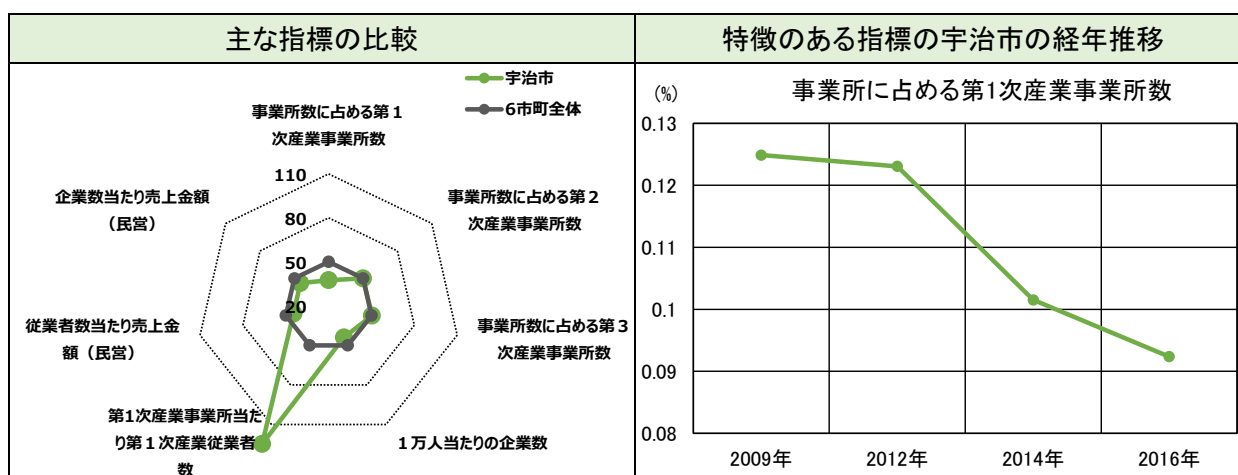
- 中学校生徒数当たり中学校教員数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【1万人当たりの図書館数】

- 1万人当たりの図書館数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

「1万人当たりの小学校数」「1万人当たりの中学校数」が低い水準にあることから、小学校・中学校の効率化が一定程度図られていることが推察される。「小学校数(可住地面積 100 km²当たり)」の水準が高いのは、「可住地面積 1 km²当たり人口密度」が高い水準にあることによるものだと考えられる。

(3)経済



【事業所数に占める第1次産業事業所数】

- 事業所数に占める第1次産業事業所数は、6市町平均と比べて低い水準にあると共に減少傾向にある。

【1万人当たりの企業数】

- 1万人当たりの企業数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【第1次産業事業所当たり第1次産業従業者数】

- 第1次産業事業所当たり第1次産業従業者数は、6市町平均と比べて非常に高い水準にある。

【従業員数当たり売上金額(民間)】

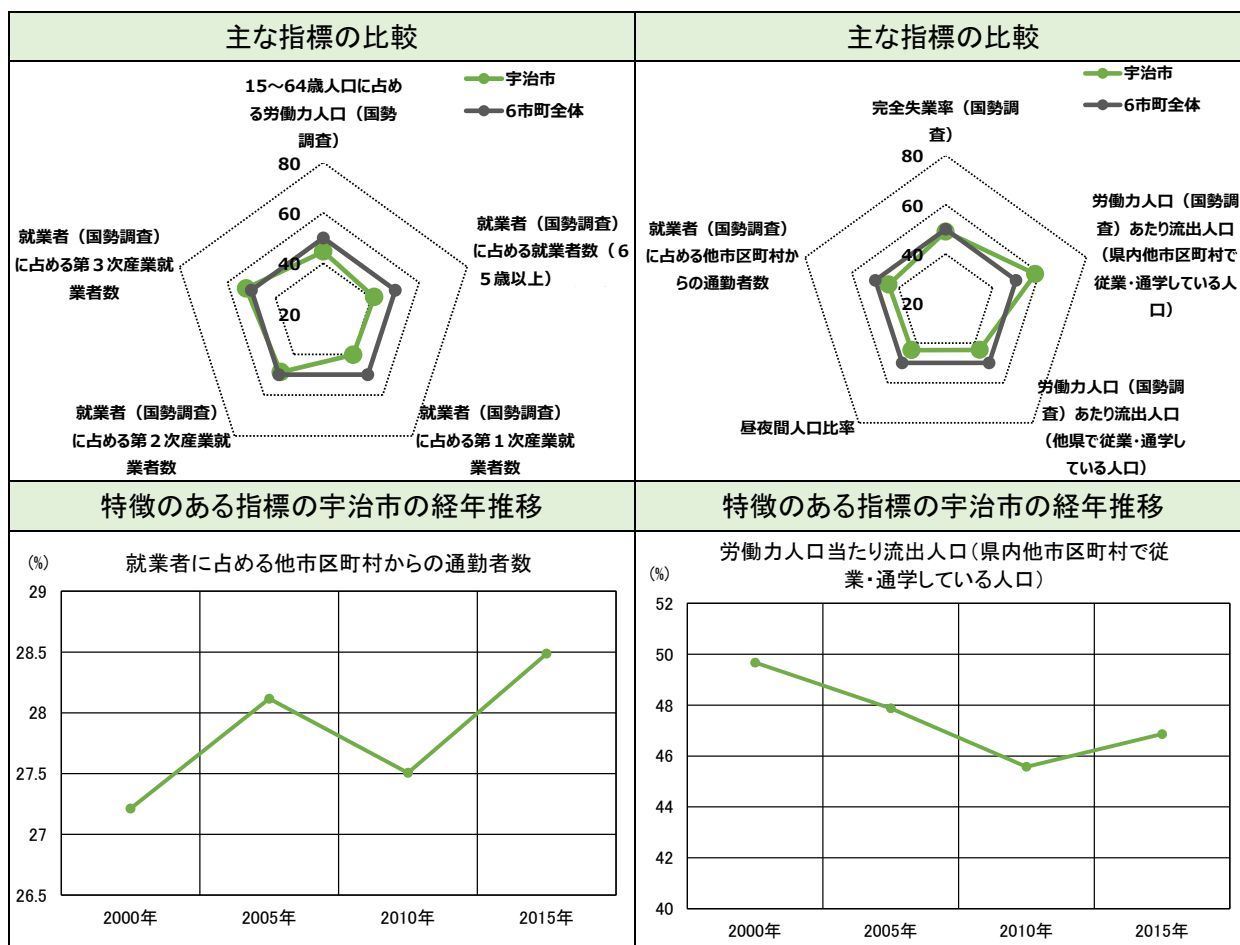
- 従業員数当たり売上金額(民間)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【企業数当たり売上金額(民間)】

- 企業数当たり売上金額(民間)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

「事業所数に占める第1次産業事業所数」の水準が低く、年々減少傾向にあることから、産業構造の転換が進んでいることが推察される。また「第1次産業事業所当たり第1次産業従業者数」の水準が非常に高いことから、一定の規模がある事業所が存在することが考えられる。

(4)労働・雇用



【就業者に占める就業者数(65歳以上)】

- 就業者に占める就業者数(65歳以上)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【就業者に占める第1次産業就業者数】

- 就業者に占める第1次産業就業者数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【労働力人口当たり流出人口(県内他市区町村で従業・通学している人口)】

- 労働力人口当たり流出人口(県内他市区町村で従業・通学している人口)は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【昼夜間人口比率】

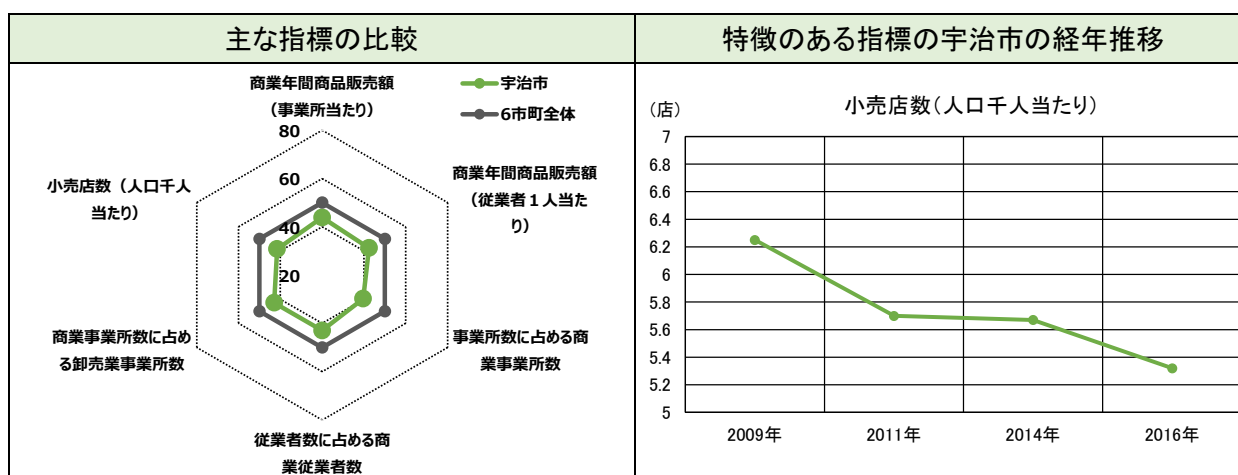
- 昼夜間人口比率は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【就業者に占める他市区町村からの通勤者数】

- 就業者に占める他市区町村からの通勤者数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

「労働力人口当たり流出人口(県内他市区町村で従業・通学している人口)」「就業者に占める他市区町村からの通勤者数」から、市外で従業・通学している人、そして、他市区町村から働きに来る人が直近で増えている。

(5)商業



【商業年間商品販売額(事業所当たり)】

- 商業年間商品販売額(事業所当たり)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【商業年間商品販売額(従業員1人当たり)】

- 商業年間商品販売額(従業員1人当たり)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【事業所に占める商業事業所数】

- 事業所に占める商業事業所数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【従業員に占める商業従業員数】

- 従業員に占める商業従業員数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【商業事業所数に占める卸売業事業所数】

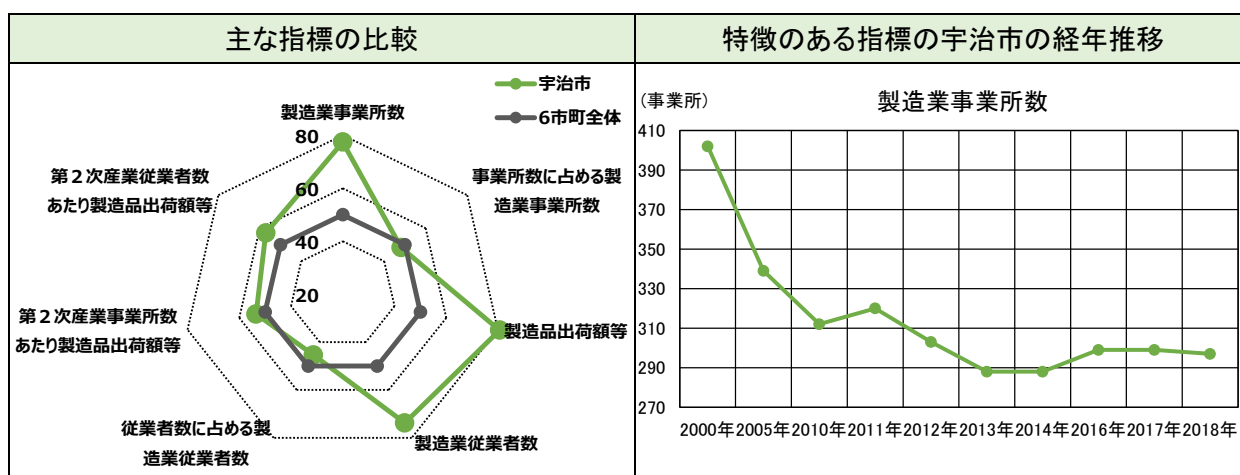
- 商業事業所数に占める卸売業事業所数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【小売店数(人口千人当たり)】

- 小売店数(人口千人当たり)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

商業分野の各指標について、6市町平均と比較すると多くの指標において、低い水準であることが分かる。また、「小売店数(人口千人当たり)」は、年々減少している。

(6)工業



【製造業事業所数】

- 製造業事業所数は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【製造品出荷額等】

- 製造品出荷額等は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【製造業従業員数】

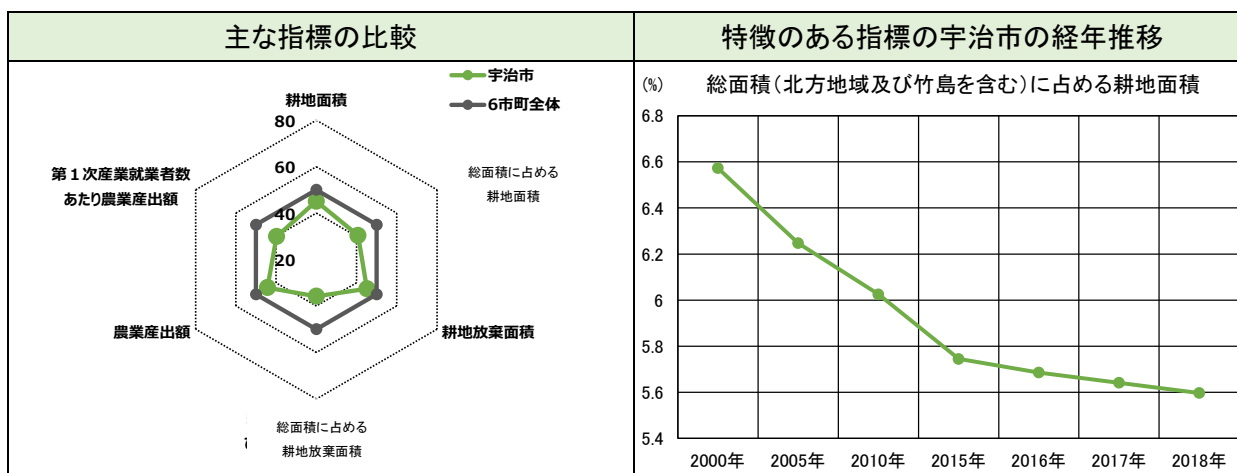
- 製造業従業員数は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【第2次産業従業員数あたり製造品出荷額等】

- 第2次産業従業員数あたり製造品出荷額等は、6市町平均と比べて高い水準にある。

「製造業事業所数」「製造業従業員数」が6市町平均と比較して、高い水準であることが分かる。また、「第2次産業従業員数あたり製造品出荷額等」が6市町平均と比較して、高い水準にあることから、第2次産業の生産性が高いことが推察される。

(7)農林水産業



【総面積に占める耕地面積】

- 総面積に占める耕地面積は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【総面積に占める耕地放棄面積】

- 総面積に占める耕地放棄面積、6市町平均と比べて低い水準にある。

【農業産出額】

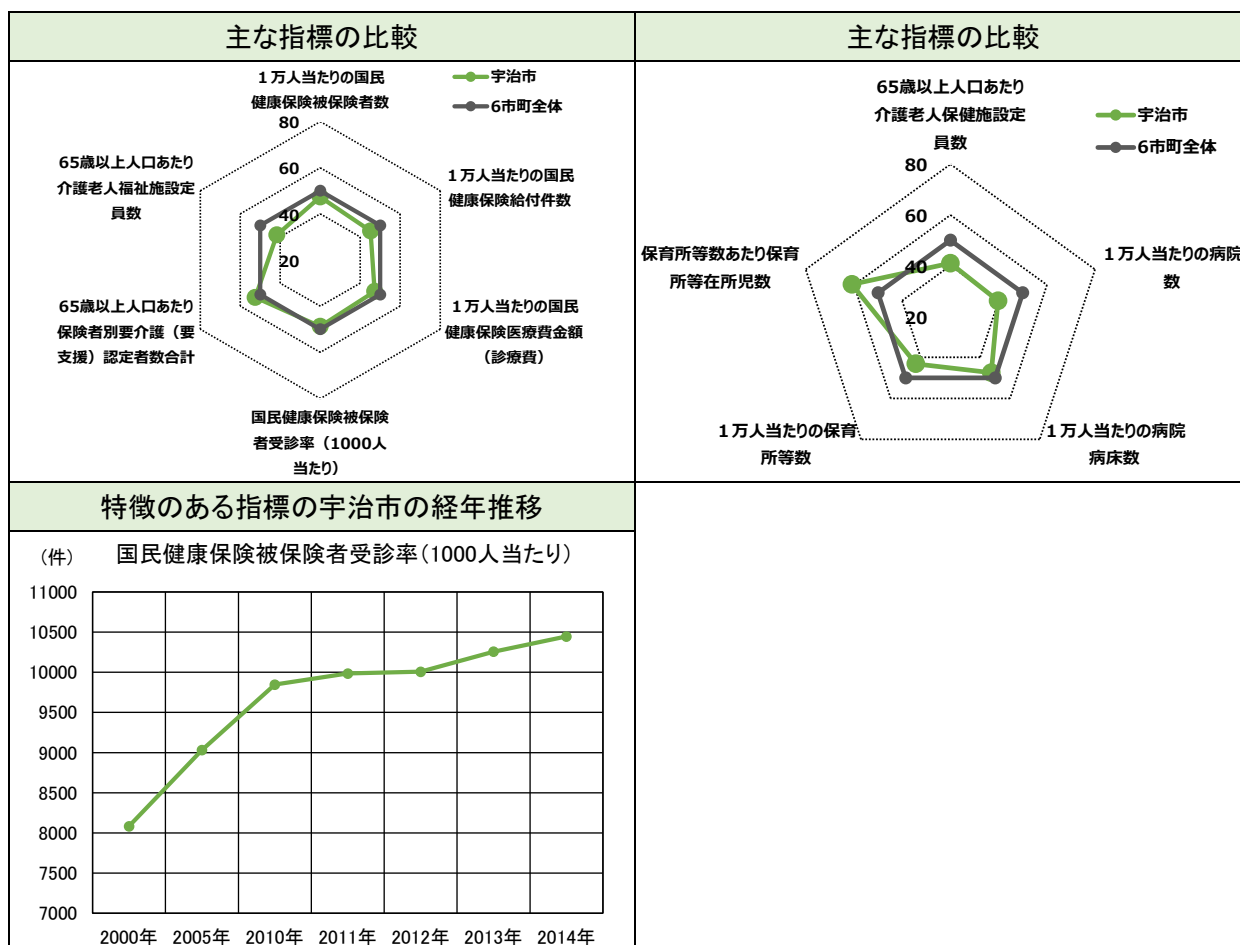
- 農業産出額は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【第1次産業就業者数当たり農業産出額】

- 第1次産業就業者数当たり農業産出額は、6市町平均と比べて低い水準にある。

「第1次産業就業者数当たり農業産出額」が6市町平均と比較して低い水準にあることから、農業の生産性向上に向けた取組が必要である。「総面積に占める耕地面積」が年々減少していることから、農業の担い手・後継者の問題をはじめとして、持続可能な農業の実現に向けた取組が重要となる。

(8)福祉・医療



【国民健康保険被保険者受診率(1000人当たり)】

- 国民健康保険被保険者受診率(1000人当たり)[※]は、6市町平均と比べて同水準にある一方で、年々増加している。[※]国民健康保険被保険者1,000人当たり診療件数のこと

【65歳以上人口当たり介護老人福祉施設定員数】

- 65歳以上人口当たり介護老人福祉施設定員数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【1万人当たりの病院数】

- 1万人当たりの病院数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【1万人当たりの病院病床数】

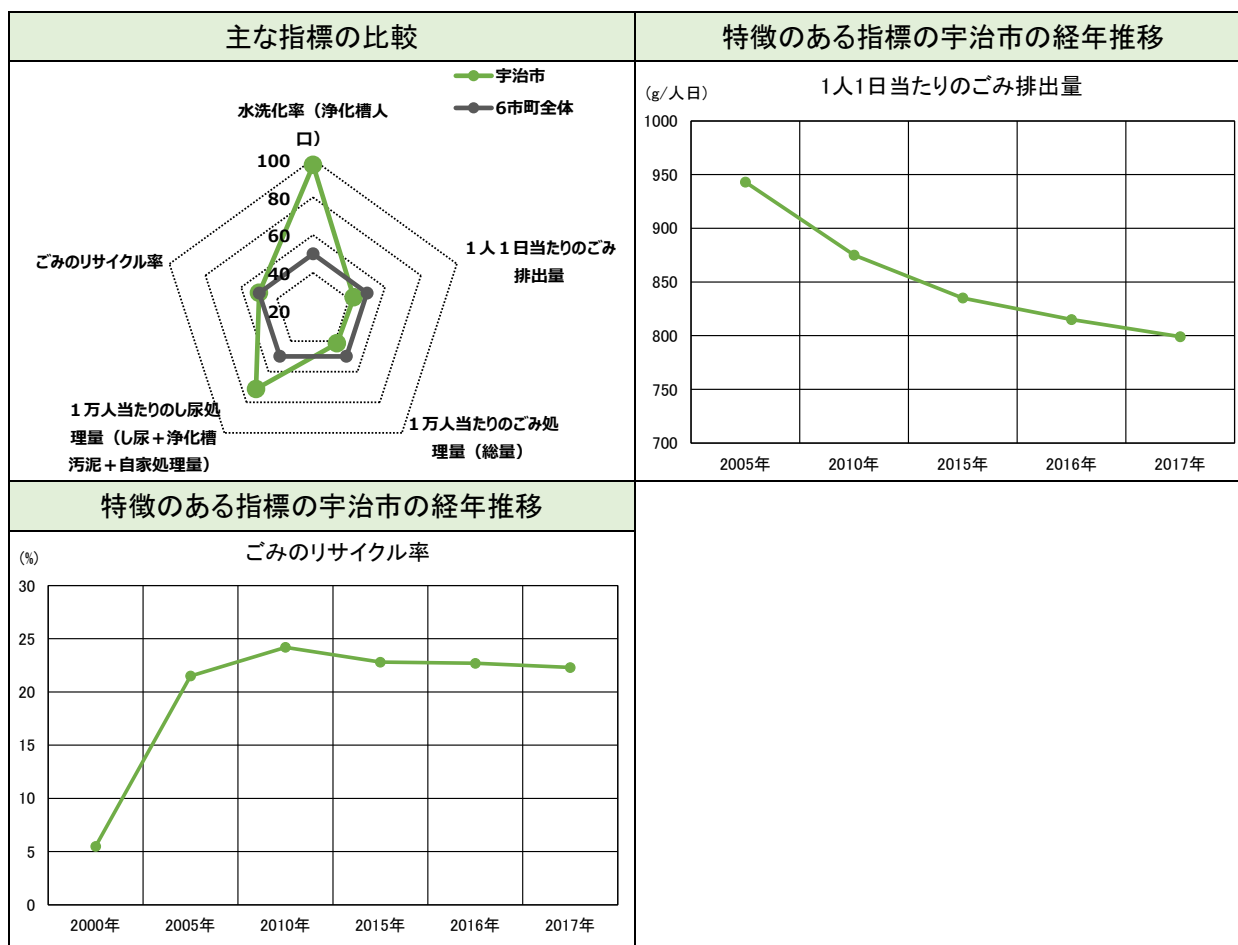
- 1万人当たりの病院病床数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【保育所等数当たり保育所等在所児数】

- 保育所等数当たり保育所等在所児数は、6市町平均と比べて高い水準にある。

「国民健康被保険者受診率(1000人当たり)」は、6市町平均と比較して、同水準にあるが、増加傾向にあり、高齢化による医療費負担の増大が推察される。

(9)環境衛生・安全



【水洗化率(浄化槽人口)】

- 水洗化率(浄化槽人口)は、6市町平均と比べて非常に高い水準にある。

【1人1日当たりのごみ排出量】

- 1人1日当たりのごみ排出量は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【1万人当たりのごみ処理量(総量)】

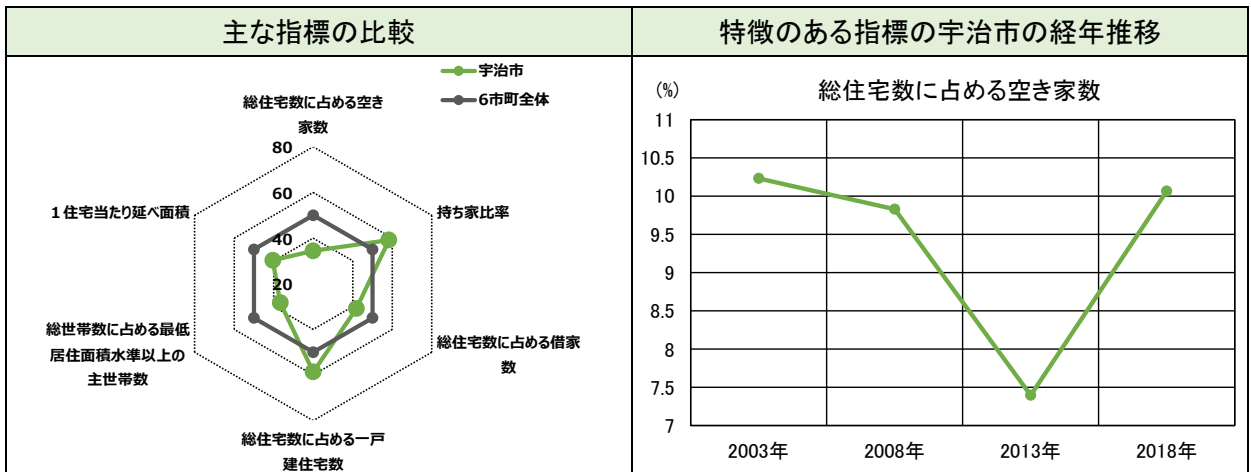
- 1万人当たりのごみ処理量(総量)は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【1万人当たりのし尿処理量】

- 1万人当たりのし尿処理量は、6市町平均と比べて高い水準にある。

「1人1日当たりのごみ排出量」及び「ごみのリサイクル率」の経年推移から、ごみのリサイクル率は横ばいで推移しているものの、ごみ排出量は減少傾向にあることが分かる。

(10)居住環境



【総住宅数に占める空き家数】

- 総住宅数に占める空き家数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【持ち家比率】

- 持ち家比率は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【総住宅数に占める借家数】

- 総住宅数に占める借家数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【総住宅数に占める一戸建住宅数】

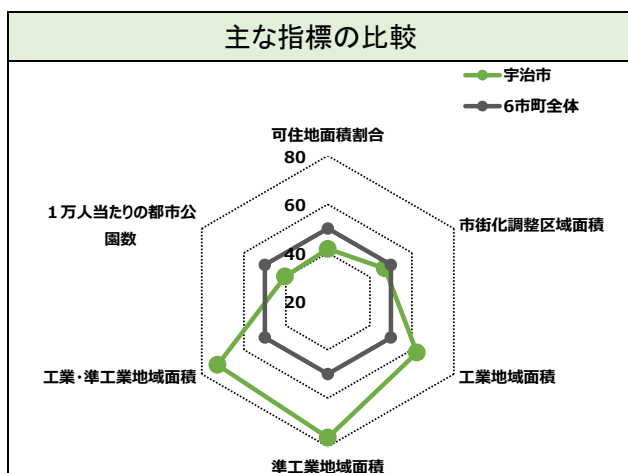
- 総住宅数に占める一戸建住宅数は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【総世帯数に占める最低居住面積水準以上の主世帯数】

- 総世帯数に占める最低居住面積水準以上の主世帯数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

「持ち家比率」及び「総住宅に占める一戸建住宅数」の水準が高いことから、単身世帯ではなく、家族で居住している人が多いことが推察される。

(11)土地利用



【可住地面積割合】

- 可住地面積割合は、6市町平均と比べて低い水準にある。

【工業・準工業地域面積】

- 工業・準工業地域面積は、6市町平均と比べて高い水準にある。

【1万人当たりの都市公園数】

- 1万人当たりの都市公園数は、6市町平均と比べて低い水準にある。

「可住地面積割合」の水準が低いことは、市域の半分以上が林野面積に覆われていることが一因として推察される。